

特集

糖尿病の 重症化予防



先行自治体の取り組みから学ぶ

国の新たな医療費適正化基本方針において糖尿病の重症化予防が位置づけられ、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの全国展開が図られている。また、2016年度から国保の保険者努力支援制度が前倒し実施され、2018年度から保険者インセンティブの本格実施が予定されており、糖尿病の重症化予防の取り組みは保険者共通指標の1つとされている。

本特集では、糖尿病の重症化予防の意義を知るとともに、自治体が医療機関等とどのように連携して戦略的に取り組んでいくべきか、先行事例を交えながら考える。

- 「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」とは
保健師への期待
- 糖尿病性腎症重症化予防プログラムの活用に向けて
研究班の立場から
- 【事例】
- ①「三者連携」と「市町村広域展開」で重症化予防を推進
埼玉県の取り組み
- ②糖尿病性腎症重症化予防プログラムからさらなる
予防事業への発展 呉市の取り組み
- ③かかりつけ医や委託先専門職との連携で効果的に
プログラムを展開 荒川区の取り組み
- 【富山県における糖尿病重症化予防のための土台づくり】
- ①県による糖尿病対策推進強化事業
- ②保健所が取り組む糖尿病対策